

- 情報処理関係科目における指導内容と指導法
- マイクロ・コンピュータ

③ 講 師

- 日本調理士会技能検定委員 石 田 力
- 福島大学教育学部講師 晴 山 克 枝
- 中央学院大学助教授 篠 原 靖 市
- 県立郡山商業高等学校教頭 田 中 光 雄
- 県立須賀川高等学校教諭 半 沢 一 郎
- 県教育庁指導主事
- 教育センター担当所員

18 電子計算機による教員の個人研修

講座や生徒実習以外の日に、電子計算機による個人研修を受け入れているが、本年度は、つぎのとおりであった。

個人研修の利用状況

学校種別	学 科	延 べ 人 数
高 等 学 校	商 業 科	0
	工 業 科	0
	普通科(数学系)	11 (15.5%)
中 学 校	数 学 系	60 (84.5%)
合 計		71 (100.0%)

19 教育相談講座

(1) 中学校教育相談講座

① 期日・人員等

- ア 第1次 1班 9月16日～9月19日
- 2班 11月11日～11月14日

- イ 第1班 中学校教員 32名
- 第2班 中学校教員 32名

② 主な内容

- 「ジョハリーの窓」を通して
- 個人面接法
- 思春期の精神障害
- Y-G性格検査と親子関係診断テスト
- 個人理解の方法
- 自律訓練法の基礎

③ 講 師

- 福島県精神衛生センター所長 上 野 文 彌
- 千葉市立第二養護学校長 向 後 正
- 教育センター担当所員

(2) 高等学校教育相談講座

① 期日・人員等

- ア 第1次 10月28日～10月31日
- イ 高等学校教員 35名

② 主な内容

- 「ジョハリーの窓」を通して
- 個人面接法
- 思春期の精神障害
- Y-G性格検査と親子関係診断テスト

- 個人理解の方法
- 自律訓練法の基礎

③ 講 師

- 福島県精神衛生センター所長 上 野 文 彌
- 千葉県教育センター教育相談部長 相 本 恒 郎
- 教育センター担当所員

(3) 中学校・高等学校教育相談講座

① 期日・人員等

- ア 第2次 前期 9月1日～9月4日
- 後期 12月8日～12月11日

- イ 中学校教員 19名
- 高等学校教員 11名

② 主な内容

- マイクロ・ラボラトリー・トレーニング
- エゴグラム
- カウンセリングテープ分析
- ロール・プレイング
- カウンセリング実習
- Y-G性格検査の分析
- 行動カウンセリング
- 事例研究
- 教育催眠

③ 講 師

- 桜の聖母短期大学助教授 樋 口 勝 也
- 山形大学教育学部助教授 高 橋 良 幸
- 教育センター担当所員

第4節 教育相談に関する事業

1 幼児・児童・生徒・父母との教育相談

- (1) 幼児及び小学校低学年の児童がもつ問題行動の矯正治療には、遊戯療法を原則として用い、ケースによっては、行動療法もあわせて実施した。
- (2) 小学校高学年の児童及び中学校・高等学校生徒に対しては、カウンセリングを主として用い、治療にあたってきたが、自律訓練法や行動療法も取り入れて実施した。
- (3) 父母に対しては、子供のもつ問題行動の矯正治療の効果を高めるために、親子関係の改善、しつけや養育態度の正しいあり方について気づくように指導助言するとともに、その促進を図るために、感受性を高める訓練も実施した。
- (4) 遠隔地や家庭の事情等のため、来談することのできないことを考え、会津管内・いわき管内で延6日間の移動教育相談を実施した。

2 教職員への助言

- (1) 来談した幼児・児童・生徒の問題行動の矯正治療の効果を高めるためには、保育所、幼稚園、学校側との密接な協力関係が必要である。特に担任教師と連絡を取りながら、子供に対する指導援助の徹底を図っている。
- (2) 幼稚園や学校における学習状況、友人関係、行動状況等を記述した「教育相談資料」の提供を依頼し、診断、指導方針の確立に役立てているとともに、指導方法の具体的な